

子どもの健康と病気の予防②④

－ 小学校入学前に接種すべき予防接種 －

小宅医院 小宅民子

小学校に入学する前は、ワクチンの接種を確認するためにとても良い時期です。MR（麻しん・風しん）ワクチン、おたふくかぜワクチン、三種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風）ワクチン、ポリオワクチンは入学前の年長児での接種が推奨されており、小学校入学前（2025年3月31日）までに接種しましょう。MRワクチンは定期接種ですが、その他は任意接種となります。津久見市ではおたふくかぜワクチン、三種混合ワクチン、ポリオワクチンを助成しており無料で接種できます。

三種類混合ワクチン接種では、百日咳の発症が最近問題となっています。小学生の間で百日咳の流行が度々みられ、原因は就学前の百日咳抗体価が低下しているためと言われています。また、世界ではまだポリオ発生国が多くあります。日本では4種類混合ワクチンの定期接種をしていますが、残念ながら、就学前にポリオの抗体価が低下してしまっています。

これらのすべてのワクチンは1回の接種では不十分なことがあります。就学前に2回接種するとほとんどの人がこれらの病気にかからなくなり、またかかったとしても軽い症状で済むことがわかっています。

また、小学校に入るとワクチンを受ける機会は少なくなります。9～12歳で日本脳炎ワクチン、11～12歳で二種混合（ジフテリア、破傷風）ワクチン、小6～高1女子ヒトパピローマウイルス（子宮頸がん）ワクチンの接種があります。これらの接種は定期接種であり、忘れないように接種しましょう。



小学校入学前に接種すべき予防接種の5つのポイント！

- ①MRワクチン、おたふくかぜワクチン、三種混合ワクチン、ポリオワクチンを接種する
- ②対象は就学前（年長児）の子ども
- ③津久見市の対象医療機関で実施
- ④小学校入学前には百日咳、ポリオの免疫が弱まる
- ⑤2回の接種で免疫が増加する

